

日本宗教学会
第 57 回 学 術 大 会

期 日 1998年 9 月13日 (日) ~ 15日 (火)
会 場 龍 谷 大 学
京都市伏見区深草塚本町67

お知らせ・お願い

1. 受付で名札をお受け取り下さい。
2. 受付には学会本部が出張しております。学会費未納の方はお納め下さい。
3. 研究発表者は、発表の2番前には、その部会会場へおいで下さい。
4. 研究発表は1人15分、質問時間は5分となっております。発表時間の厳守をお願いします（初鈴13分、第二鈴15分、第三鈴20分）。
5. 研究発表のレジュメ（表紙・本文）は、部会責任者にお渡し下さい。

締切 大会最終日（9月15日）16時50分

（以後の提出、訂正は一切受け付けません。）

表紙 同封のレジュメ表紙を御利用下さい。

枚数 題目・氏名を除いて400字詰縦書き原稿用紙4枚（1,600字）以内厳守。
超過した場合は掲載できないこととございます。

本文 縦書き（ワープロ・パソコンでの印字も縦書き）。なるべくワープロを使用して印字して下さい。手書きの場合は読みやすいよう丁寧に書いて下さい。外国語表記は明瞭をお願いします。

図表等の掲載はできませんので添付しないで下さい。

6. 喫煙は所定の場所（談話ロビー：各階E V横）以外ではご遠慮下さい。
7. 大会本部への電話は次の番号をご利用下さい。

9月12日までは

075-645-8517

9月13日から15日大会終了までは

082-82-85318

F A X 075-643-8510（日本宗教学会事務局宛と明記して下さい）

Email takada@rnoc.fks.ryukoku.ac.jp

受	付	21号館3階ロビー
会員休憩室・クローク		21号館3階301教室 [室内の禁煙に御協力下さい]
学会本部・大会本部		21号館3階302教室

日 程

9月13日(日) —— 大宮学舎 ——

開会式	(本館 講堂)	13:00 ~ 13:30
公開講演会	(本館 講堂)	13:30 ~ 15:30

「宗教哲学の課題——日本宗教学会と龍谷大学——」

龍谷大学名誉教授 石田 慶和

「蓮如上人と本願寺教団」

龍谷大学名誉教授 千葉 乗隆

学会賞選考委員会	(北齋103教室)	13:30 ~ 15:30
本願寺拝観	(書院、飛雲閣等)	16:00 ~ 17:00
理事会	(西齋大会議室)	17:30 ~ 19:30

9月14日(月) —— 深草学舎 ——

研究発表	(21号館各教室)	9:00 ~ 12:00
評議員選考委員会	(21号館504教室)	10:30 ~ 12:00
評議員会	(21号館502教室)	12:00 ~ 13:30
研究発表	(21号館各教室)	13:30 ~ 16:10
会員総会	(顕真館)	16:20 ~ 17:40
懇親会	(3号館地下 ラウンジ)	18:00 ~ 20:00

9月15日(火) —— 深草学舎 ——

研究発表	(21号館各教室)	9:00 ~ 12:00
『宗教研究』編集委員会	(21号館504教室)	12:00 ~ 13:40
研究発表	(21号館各教室)	13:30 ~ 16:50
閉会式		各部会終了後

第1部会 (21号館201教室)

9月14日(月) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|-----------------------------------|----------------|
| 1. ウェーバーのエートス論と日本思想 | 横田理博 (電気通信大) |
| 2. 集合的宗教の諸相 | 津城寛文 (静岡県立大) |
| 3. 宗教的真理と集合表象 | 小田淑子 (関大) |
| 4. 仏教とキリスト教の霊性の実践・比較研究 | 坂本進 (アサンプション大) |
| 5. 諸宗教の神学への一視点-W. C. Smithの比較宗教史ー | 土田友章 (南山大) |
| 6. セム系3宗教を巡る宗教対話の可能性について | 塩尻和子 (日大) |
| 7. 宗教/呪術の境界設定と聖/俗概念の関係 | 藤原聖子 (日本学術振興会) |
| 8. 「自然宗教」論の効用と問題点をめぐって | 中村生雄 (阪大) |
| 9. 儀礼論 | 関一敏 (九大) |

9月14日(月) 午後(13:30~16:10)

- | | |
|--------------------------------|------------------|
| 1. 神話論からロゴロジーへーケネス・パークの方法ー | 堀雅彦 (北大) |
| 2. 宗教言述の隠喩性 | 岩田成就 (立大) |
| 3. H. ウーゼナーの〈宗教学〉と〈文献学〉の構想について | 掛川富康 (茨城キリスト教大) |
| 4. 信仰の類型ー浄土三部経にみられる信仰の特色ー | 加藤智見 (東京工芸大) |
| 5. フリードリッヒ・ハイラーの宗教学 | 宮嶋俊一 (東大) |
| 6. ルドルフ・オットーと十牛図 | 木村俊彦 (四天王寺国際仏教大) |
| 7. オットーにおける聖概念 | 澤井義次 (天理大) |
| 8. 社会福祉と奉仕思想の原点からクローン技術の終焉まで | 平野孝國 (皇學館大) |

9月15日(火) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|---------------------------------|----------------|
| 1. ユングと一神教の問題ーホワイト神父との交流と決裂ー | 高橋原 (東大) |
| 2. 父性の場所ー精神分析のユダヤ性をめぐってー | 安藤泰至 (鳥取大) |
| 3. 夢体験の宗教学的理解 | 海山宏之 (茨城県立医療大) |
| 4. 自己実現欲求の宗教的意味ーマスロー欲求階層論の視点からー | 中村みどり (京大) |
| 5. 儀礼・神経症・遊びー心理学的儀礼論とモダニティーー | 堀江宗正 (東大) |
| 6. 文化批判・文化構築と宗教学ー生成期日本宗教学のモチーフー | 深澤英隆 (一橋大) |
| 7. 異教徒の宗教をめぐるハーバート卿の理念 | 玉井実 (東京工芸大) |
| 8. D. ヒュームの宗教観 | 齋藤隆 (日大) |
| 9. ダーウィン進化論とイングランド教会ー「不可知論」の誕生ー | 酒井サヤカ (日本歯大) |

9月15日(火) 午後(13:30~16:50)

- | | |
|---------------------------------|---------------|
| 1. 祖型の反復と祈り | 平良直 (筑波大) |
| 2. 近代的世界記述と宗教意識ー普門円通の梵曆理論をめぐってー | 岡田正彦 (天理大) |
| 3. 暦と‘マップ・ムンディ’(世界図)の構造と変容 | 笹尾典代 (恵泉女学園大) |
| 4. 歴史の聖化ー終末論における歴史理解からのアプローチー | 十津守宏 (成城大) |
| 5. 宗教的経験の淵源についての一試論 | 加島史健 (大阪明星学園) |
| 6. 宗教的象徴としての鏡の意味について | 井手直人 (筑波大) |
| 7. エリアーデ宗教学における人間学的側面について | 岡宏志 (東北大) |
| 8. エリアーデのルーマニア論 | 奥山倫明 (南山大) |
| 9. 回心の解釈学的考察ー内村鑑三・新島襄の場合ー | 徳田幸雄 (東北大) |
| 10. 丸山真男と宗教理論 | 池田昭 (中京大) |

第2部会 (21号館202教室)

9月14日(月) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|------------------------------|---------------|
| 1. 病と死の公共空間としてのルルド | 寺戸 淳子 (専修大) |
| 2. ターミナルケアにおける宗教の役割についての一考察 | 森久保 俊満 (東海大) |
| 3. ISKCONの思想と運動ーカルトか宗教かー | 中野 毅 (創価大) |
| 4. 日本人の宗教的世界観の将来 | カール・ベッカー (京大) |
| 5. 現代沖縄のユタ的「霊能者」について | 池上 良正 (筑波大) |
| 6. 海上他界との媒介者・ウミガメ | 藤井 弘章 (京大) |
| 7. 宗教と文化因子の関連についてートラホムルコの場合ー | 野村 暢清 (久留米大) |

9月14日(月) 午後(13:30~16:10)

- | | |
|----------------------------------|-----------------|
| 1. 絵解きと葬送儀礼ー当麻曼荼羅講讃の場合ー | 加藤 善朗 (日本学術振興会) |
| 2. 極楽の儀を移すとはービジュアルライズされた浄土ー | 神居 文彰 (佛光大) |
| 3. 中国モンゴル仏教文革後の復興活動について | 渡辺 観永 |
| 4. グローバル化とカレンダーー宗教をめぐる文化的相克ー | 中牧 弘允 (国立民博) |
| 5. 霊媒と予言者のあいだー降神巫再考ー | 佐藤 憲昭 (駒大) |
| 6. 中国本土の童乩信仰ー東南アジア各地の場合との比較においてー | 佐々木 宏幹 (駒大) |
| 7. 降神巫儀の種類 | 櫻井 徳太郎 (駒大) |
| 8. 大阪四天王寺庚申堂の初庚申 | 窪 徳忠 (大正大) |

9月15日(火) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|----------------------------|-----------------|
| 1. C. W. ヘプナーの観た黒住教 | 藤原 照彦 |
| 2. 初期新宗教における救済の構造ー大本教を事例にー | 長崎 誠人 (日本学術振興会) |
| 3. 新宗教の暴力性ー信者の心が揺らぐときー | 伊藤 雅之 (日本学術振興会) |
| 4. 現代日本における代替知運動の一考察 | 富永 健太郎 (筑波大) |
| 5. 女性宗教者のライフヒストリーとその分析をめぐる | 薄井 篤子 (神田外語大) |
| 6. 新宗教の分派と統制ーオウム真理教を通してー | 尾堂 修司 |
| 7. オウム真理教再考 | 前川 理子 (東大) |
| 8. 心なおしの超越性と近代性ー修養団捧誠会の場合ー | 島 藺進 (東大) |

9月15日(火) 午後(13:30~16:30)

- | | |
|--------------------------------|-----------------|
| 1. 宗教と文化ー破壊と再生についてー | 野村 誠 (共愛学園女子短大) |
| 2. カーゴ・カルトと宗教的想像力 | 磯 忠幸 (関大) |
| 3. 世俗化論再考 | 住家 正芳 (東大) |
| 4. 世俗化論再考 | 林 淳 (愛知学院大) |
| 5. インターネットと宗教教団 | 黒崎 浩行 (國學院大) |
| 6. 諸宗教・無宗教のコミュニケーション・共存の可能性の条件 | 濱田 陽 (京大) |
| 7. 伝道の宗教学的的理解 | 東馬場 郁生 (天理大) |
| 8. 宗教運動の類型化 | 黒川 知文 (愛知教育大) |
| 9. 新しい社会運動論と宗教研究 | 竹 沢 尚一郎 (九大) |

第3部会 (21号館203教室)

9月14日(月) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|------------------------------------|-----------------|
| 1. カッシーラーの神話的思惟について | 谷口 静 浩 (関西学院大) |
| 2. 孤独・死・永遠回帰—『歎ばしい知識』341読解— | 中路 正 恒 (京都造形芸大) |
| 3. 『悲劇の誕生』についての一考察 | 竹村 香 織 (早 大) |
| 4. W. ジェイムズの多元的宇宙 | 吉永 進 一 (舞鶴高専) |
| 5. 敬虔主義と啓蒙主義—宗教と制度との関わりをめぐって— | 蝶野 立 彦 (早 大) |
| 6. 新新宗教とブーバー哲学—脱工業化社会の潮流として— | 熊田 一 雄 (愛知学院大) |
| 7. 間 (Zwischen) と他者—マルティン・ブーバーの視点— | 大川 武 雄 (早 大) |
| 8. ブーバーにおける神 | 福井 雅 彦 (北 里 大) |

9月14日(月) 午後(13:30~16:10)

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1. トーマス・ミュンツァーと「公益」 | 木塚 隆 志 (駿河台大) |
| 2. ル・フォールにおける「文学と宗教」 | 八木 博 (山 梨 大) |
| 3. ヤーコブ・ベームにおける「無底」 | 笠井 貞 (東京国際大) |
| 4. フィヒテ哲学における宗教について | 諸岡 道比古 (弘 前 大) |
| 5. ヘーゲルにおける神の存在の存在論的証明 | 小林 亜津子 (京 大) |
| 6. ヤスパースにおける暗号と超越者 | 土佐 明 (京 大) |
| 7. ヤスパースにおける交わりと認識の問題 | 布施 圭 司 (米子工高専) |
| 8. コスモロジーへの回帰—ホワイトヘッドの神— | 間瀬 啓 允 (慶 大) |

9月15日(火) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|----------------------------------|------------------|
| 1. プラトン「イデア論」形成における「善性」の機能について | 和田 義 浩 (日本学術振興会) |
| 2. パスカールに於る“永遠”を巡って | 神保 全 孝 (姫路獨協大) |
| 3. メルロ=ポンティとユング | 大滝 結 (早 大) |
| 4. レヴィナスにおける「人間性」の概念 | 重松 健 人 (関西学院大) |
| 5. エマニュエル・レヴィナスにおける「宗教」について | 岩井 美好 (早 大) |
| 6. 初期ハイデッガーのルター解釈—『有と時』の成立に至るまで— | 田中 敏 明 (龍 大) |
| 7. 前期ハイデッガー思想における「瞬間」について | 松本 直 樹 (京 大) |
| 8. ハイデッガーにおけるシェーラーの影響 | 小野 真 (京 大) |
| 9. プシュヴァアラのシェーラー批判—直観の権能をめぐって— | 宮崎 真 矢 (富山工高専) |

9月15日(火) 午後(13:30~16:30)

- | | |
|----------------------------------|-----------------|
| 1. キルケゴール思想の源流—北欧精神史方法論序説— | 中里 巧 (東 洋 大) |
| 2. キルケゴールと悪 | 長谷 修 孝 (法 大) |
| 3. S. キルケゴールの著作活動の構成について | 平林 孝 裕 (関西学院大) |
| 4. ドゥルーズとキルケゴール—差異と反復の哲学における主体性— | 河合 孝 昭 (早 大) |
| 5. カントにおける根本悪の問題 | 村野 宣 男 (文 教 大) |
| 6. カントのアナログアと神—『判断力批判』を中心として— | 石浜 弘 道 (日 大) |
| 7. カント実践哲学における選択意志の問題について | 後藤 正 英 (京 大) |
| 8. シュライエルマッハーの『弁証法』(1811) | 伊藤 慶 郎 (京 大) |
| 9. シュライエルマッハーの『弁証法』における「感情」について | 川島 堅 二 (恵泉女学園大) |

第4部会 (21号館406教室)

9月14日(月) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| 1. 言説の生成過程-「永遠のローマ」をめぐる- | 小堀馨子(東大) |
| 2. 古代メソポタミアにおける儀礼文書 | 柴田大輔(東大) |
| 3. 古代イスラエルの社会構造と倫理 | 加藤久美子(日本学術振興会) |
| 4. 旧約聖書の贖罪祭儀における罪と穢れ | 山我哲雄(北星学園大) |
| 5. ナザレのイエスにおけるヘブライ語聖典の権威 | 市川裕(東大) |
| 6. 死海写本におけるマスキール | 原口尚彰(聖和大) |
| 7. 初期キリスト教の復活理解におけるパウロ神学の影響 | 出村みや子(ノートルダム清心女子大) |
| 8. マタイ福音書21章43節について | 江川憲(南山大) |
| 9. 女から母へ-ヨハネ伝一九・二六の諸訳について- | 藤谷政躬 |

9月14日(月) 午後(13:30~16:10)

- | | |
|-----------------------------------|--------------------|
| 1. 聖書解釈の正当根拠-近世スペインの「神秘家」たちの場合- | 鶴岡賀雄(東大) |
| 2. 痛みのうちに在ること-聖テレサの神秘体験を辿って- | 山下豊(大阪音大) |
| 3. 西欧中世の黙示録と死生観 | 北沢裕(東大) |
| 4. ヨハネス・ア・サント・トマにおける聖霊の賜物論について | 岸英司(英知大) |
| 5. バーゼルミッションとフェミニズム | 横手征彦(金城学院大) |
| 6. 経験の分有-イグナティウス・デ・ロヨラとザクセンのルドルフ- | 須沢かおり(ノートルダム清心女子大) |
| 7. トレルチの自然法解釈について | 高野晃兆(大阪府立工高専) |
| 8. テイリッヒ神学と科学の問題 | 芦名定道(京大) |

9月15日(火) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|----------------------------------|----------------|
| 1. 19世紀前半期のロシアにおける「宗教」をめぐる諸言説 | 井上まどか(東大) |
| 2. ニコライの日本理解-正教会の秋田北部伝教- | 尾田泰彦(東京外大) |
| 3. 田中正造とバイブル | 長江弘晃(佐野国際情報短大) |
| 4. 聖書の贖罪精神と地-新英語訳聖書の翻訳を中心として- | 木原範恭(近大) |
| 5. 内村鑑三とユニテリアニズム-体験の推移に基づく見方の変化- | ミッシェル・ラフェイ(北大) |
| 6. ベトナムのカトリック-南部村落の事例から- | 萩原修子(熊本学園大) |
| 7. カトリック修道女の宗教意識の特性-アンケート調査から- | 北川直利(聖霊女子短大付高) |
| 8. 十九世紀における受難オラトリオについての考察 | 三村利恵(大阪音大) |
| 9. トリウンペ祭と十字架の道 | 三小田敏雄(東海大) |

9月15日(火) 午後(13:30~16:10)

- | | |
|---------------------------------|-----------------|
| 1. 西田哲学における聖書の理解について | 名木田薫(倉敷芸術科学大) |
| 2. 山-西田哲学をよむということ- | 廣川和夫(龍大) |
| 3. 仏教学から見た「インマニエルの神学」の枠組みとその問題点 | 津田真一(国際仏教学大学院大) |
| 4. 滝沢克己における悪の問題 | 久保紀生(大正大) |
| 5. 鈴木大拙と滝沢克己の宗教論-その対比と批評- | 土井洋(大正大) |
| 6. 鈴木大拙における「禅と日本文化」の問題 | 和田真二 |
| 7. 肯定としての無の構造-即非の論理と禅- | 冲永宜司(帝京大) |
| 8. 非仏非魔-宗教的自覚におけるニヒリズム超克の問題- | 阿部正雄(奈良教育大) |

第5部会 (21号館405教室)

9月14日(月) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|------------------------------------|--------------|
| 1. 聖者としてのラマクリシュナ | 堀内みどり (天理大) |
| 2. インドラ/ウルスラグナ神の祖型の問題とカラシュ族の一神話 | 藤原達也 (共立女子大) |
| 3. スレーシュヴァラとプラサンキヤーナ念想 | 黒田泰司 (大阪学院大) |
| 4. 創始期インド学の宗教性と政治性 | 富澤かな (東大) |
| 5. 『サマンタパーサーディカー』に説かれるコーサンビー諍論について | 奥村浩基 (大谷大) |
| 6. タンジョンにおける創られた華人ソサエティ | 清家久美 (九大) |
| 7. 東洋における宗教革命—その系譜と開華— | 上田晃圓 (龍大) |
| 8. 寇謙之と儒教 | 春本秀雄 (大正大) |
| 9. 子彈庫楚帛書に見る宇宙構造認識 | 池澤優 (東大) |

9月14日(月) 午後(13:30~16:10)

- | | |
|-----------------------------------|------------------|
| 1. ゾロアスター教徒パーシーの時間感覚の一側面 | 中別府温和 (宮崎公立大) |
| 2. 連続と不連続—世界救世教ブラジル人信者の信仰世界— | 松岡秀明 (カリフォルニア大学) |
| 3. エスニック組織と宗教—トバ・バタックの事例— | 木村敏明 (東北大) |
| 4. ヒンドゥー・ナショナリストのムスリム、クリスチャン・イメージ | 近藤光博 (南山宗教文化研究所) |
| 5. 植民地時代ペルーにおける偶像崇拜撲滅運動と「魔術」について | 谷口智子 (筑波大) |
| 6. 現代タイにおける在家者瞑想 | 矢野秀武 (東大) |
| 7. イスラム復興現象と世俗主義 | 八木久美子 (東京外大) |
| 8. 現代ムスリムの他宗教観—アシュマーウィーの場合— | 中村廣治郎 (桜美林大) |

9月15日(火) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|--------------------------------|--------------------|
| 1. 沖縄における近世陰陽道の展開の一端—トキ双紙を中心に— | 小池淳一 (弘前大) |
| 2. 沖縄の宗教的職能者(ユタ)の一集団について | 佐藤壮広 (立大) |
| 3. 真宗講社とテラモト・シントからみたカヤカベ | 古賀和則 (龍大) |
| 4. 行場での行、講社での行—御嶽行者の事例から— | 中山郁 (國學院大) |
| 5. 熊野詣の精進と還向の儀から—護法のことなど— | 鳥羽重宏 |
| 6. 末派修験の職分について | 伊藤辰典 (東北大) |
| 7. 奈良県吉野郡川上村の後南朝伝説及び御朝拝儀礼について | 安井速 (阪大) |
| 8. 巫俗と修験道の間—山形県東村山郡中山町の事例より— | 平山眞 (東洋大) |
| 9. 醍醐三宝院門跡高演の大峯入峰と遠州山伏の動向 | 山本義孝 (静岡県浅羽町教育委員会) |

9月15日(火) 午後(13:30~16:50)

- | | |
|-----------------------------|----------------|
| 1. 中国道観の概況(調査報告) | 芦名裕子 (亜細亜大) |
| 2. 道教における「造化への参入」の思想 | 鈴木健郎 (東大) |
| 3. 「式神」と「識神」 | 鈴木一馨 (東方研究会) |
| 4. 天文陰陽思想からみる高句麗時代の伽藍配置について | 李興範 (立正大) |
| 5. 韓国宗教における〈祖先〉—新宗教教団の死者儀礼— | 淵上恭子 (國學院大) |
| 6. 日本仏教の朝鮮布教—総督府統計資料にもとづいて— | 工藤英勝 (足利工業大) |
| 7. 韓国社会における親日仏教のはじまり | 申昌浩 (総合研究大学院大) |
| 8. 韓国巫俗における生死観 | 金永晃 (大正大) |
| 9. 魏晉南北朝における皇帝の喪礼について | 田沼眞弓 (國學院大) |
| 10. 古代中国祭祀観念における神明について | 栗原圭介 (大東文化大) |

第6部会 (21号館404教室)

9月14日(月) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|-----------------------------------|------------------|
| 1. シャンカラにおける聖典の引用と解釈 | 高木健翁 (東洋大東洋学研究所) |
| 2. 『阿毘曇心論』業品における處中の所作について | 智谷公和 (相愛大) |
| 3. 業・輪廻思想と無記説 | 茨田通俊 (東方研究会) |
| 4. 四無量の非差別性 | 柏原信行 (龍大) |
| 5. 忍辱 (kṣānti) と苦・痛 | 杉岡信行 (東方研究会) |
| 6. 燃燈仏物語の一考察—Divyāvadānaと過去現在因果経— | 村上憲彦 (立正大) |
| 7. 見としての眼をめぐる論争—『俱舍論』を中心に— | 遠藤信一 (東洋大東洋学研究所) |
| 8. 原始仏教に於ける「他力的な道」に就いて | 服部弘瑞 |
| 9. 刹那滅・刹那生そして宗教的絶対性 | 玉城康四郎 (東大) |

9月14日(月) 午後(13:30~16:10)

- | | |
|--------------------------------------|--------------|
| 1. 仏教思想の四類型について | 吉津宜英 (駒大) |
| 2. 初期大乘仏教に見られる僧那僧涅の思想背景 | 藤近恵市 (大正大) |
| 3. 藕益智旭の首楞嚴経解釈 | 岩城英規 (東方研究会) |
| 4. 何故涅槃は不生不滅なのか—中論に於ける bhāva と涅槃の関係— | 山本伸裕 (東洋大) |
| 5. 華嚴経における菩薩の意味 | 平賀由美子 (大正大) |
| 6. 求法太子譚とガンダヴューハの勝熱章 | 小林圓照 (花園大) |
| 7. 月称造『四百論註』にみられる「論理学者」批判 | 鈴木直子 (東洋大) |
| 8. 『中辺分別論』における無分別智について | 村田達央 (立正大) |

9月15日(火) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|-----------------------------------|------------------|
| 1. 46巻本 rnying ma rgyud 'bum について | 三谷真澄 (龍大) |
| 2. 「二入四行論」における達摩の坐禅 | 松岡由香子 (NCC宗教研究所) |
| 3. ツォンカパの縁起観—『仏世尊礼讃文「善説心髓」』について— | 安武智丸 (大谷大) |
| 4. 古写本『貞元録』に入蔵された『慈仁問八十種好経』について | 落合俊典 (華頂短大) |
| 5. 偽経『最妙勝定経』とその思想について | 猪崎直道 (駒大) |
| 6. 法蔵の縁起観—如来蔵縁起宗をめぐる— | 織田顕祐 (大谷大) |
| 7. 『大乘起信論』研究の新課題 | 早川道雄 (国際仏教学大学院大) |
| 8. 「ブツダの神格化」という概念の再検討 | 下田正弘 (東大) |
| 9. 『自性』の意味するところ—玄奘訳におけるゆらぎの問題— | 佐野靖夫 (立正大) |

9月15日(火) 午後(13:30~15:50)

- | | |
|-----------------------------------|------------------|
| 1. 真宗における伝道論の意義 | 塚田博教 |
| 2. 浄土真宗におけるビハーラ活動の諸問題 | 藤憲之 (龍大) |
| 3. 緩和医療—真宗からのアプローチ— | 林弘幹 (真宗大谷派教学研究所) |
| 4. 中世日本文化にみられる宗教的救済—真宗信心とキリシタン信仰— | 釋徹宗 (龍大) |
| 5. 『自覚に於ける直観と反省』における「自覚の立場」について | 水野友晴 (京大) |
| 6. 宗教現象学としての西田哲学 | 田中久文 (日大) |
| 7. 現今の生命論的西田哲学理解批判 | 森本さとし (近大) |

第7部会 (21号館403教室)

9月14日(月) 午前(9:00~12:00)

- | | | |
|---------------------------------|-------|-------------|
| 1. 證空の往生観と当麻曼陀羅 | 中西随功 | (西山短大) |
| 2. 安居院澄憲・聖覚をめぐる造像—中世説教師研究への新視点— | 青木淳 | (高知女子大) |
| 3. 迦才『浄土論』所説の往生人伝について | 柴田泰山 | (大正大) |
| 4. 行業論から見た『選択集』と『安楽集』 | 久米原恒久 | (浄土宗教学院研究所) |
| 5. 明恵の教判論 | 前川健一 | (東大) |
| 6. 法然上人「念仏勝行説」の成立 | 林田康順 | (大正大) |
| 7. 浄土西山義における『選択集』の地位 | 大塚靈雲 | (西山短大) |
| 8. 法然門下における『選択集』受容の考察—親鸞を中心として— | 中臣至 | (龍大) |
| 9. 融通念仏宗史の研究—中祖法明上人伝をめぐって— | 戸田孝重 | (佛敎大) |

9月14日(月) 午後(13:30~16:10)

- | | | |
|----------------------------------|------|-----------|
| 1. 京洛東山の時衆 | 古賀克彦 | (国府台女子学院) |
| 2. 時衆をめぐる新しい知見—時衆学構築のために— | 小野澤真 | (時宗教学研究) |
| 3. 日蓮聖人における歴史叙述の編年的考察—日本史を中心として— | 高森大乘 | (立正大) |
| 4. 伊豆国日蓮教団の展開 | 池谷真敬 | (立正大) |
| 5. 日蓮における滅罪観 | 北川前肇 | (立正大) |
| 6. 常寂光土について | 田村完爾 | (立正大) |
| 7. 『立正安国論』の対告衆に関する一考察 | 佐藤祐規 | (立正大) |

9月15日(火) 午前(9:00~12:00)

- | | | |
|--------------------------------|---------|------------|
| 1. 日蓮『注法華経』法華経各品の注記の特徴 | 関戸堯海 | (身延山大) |
| 2. 日蓮にみる癒し | 三輪是法 | (身延山大) |
| 3. 近世武家の法華信仰—伊予西条松平家の信仰活動を中心に— | 望月真澄 | (身延山大) |
| 4. 日蓮の「法華色読」をめぐって | ルベン・アビト | (龍大) |
| 5. 『正法眼蔵』における全機について | 粟谷良道 | (曹洞宗宗学研究所) |
| 6. 近代曹洞宗における「研究」の位置 | 熊本英人 | (曹洞宗宗学研究所) |
| 7. 道元禅師の利他思想について | 青龍宗二 | (駒大) |
| 8. 道元撰述の清規に関する宗教学的考察 | 金子奈央 | (東大) |
| 9. 道元禅思想の特徴について | 何燕生 | (東北大) |

9月15日(火) 午後(13:30~16:10)

- | | | |
|------------------------------|------|------------|
| 1. 巡礼と癒し | 中山和久 | (慶大) |
| 2. 原初的巡礼としての隔夜修行 | 根井浄 | (神戸常盤短大) |
| 3. 日本における守り本尊について | 勝田哲山 | (曹洞宗教化研修所) |
| 4. 能におけるシャーマニズム—謡曲『三輪』誓納を例に— | 永原順子 | (京大) |
| 5. 赤松啓介の「民間信仰」論 | 鈴木岩弓 | (東北大) |
| 6. 柳田国男の祭祀論 | 山崎亮 | (島根大) |
| 7. 柳田国男の「道祖神」観 | 河村能成 | (東北大) |
| 8. 民俗宗敎からみた秋葉信仰の位置 | 渡部正英 | (駒大) |

第8部会 (21号館402教室)

9月14日(月) 午前(9:00~12:00)

- | | | |
|----------------------------------|------|-----------|
| 1. 溝上恵照と高群逸枝—女性宗教者を誕生させた高群の解放思想— | 中村恭子 | (川村学園女子大) |
| 2. 羽仁もと子研究 | 森上優子 | (南山大) |
| 3. 田中智学の宗教活動 | 安中尚史 | (立正大) |
| 4. 中山みきと被差別民衆 | 池田士郎 | (天理大) |
| 5. 今村恵猛論 | 守屋友江 | (明治学院大) |
| 6. 解放の宗教としての仏教・試論 | 菱木政晴 | (西山短大) |
| 7. 脳死出産と「生」のイメージ | 寺石悦章 | (日本学術振興会) |
| 8. 宗教社会倫理問題としての臓器移植 | 西谷幸介 | (東北学院大) |

9月14日(月) 午後(13:30~16:10)

- | | | |
|-----------------------------------|-------|-----------|
| 1. 日時勘申について | 米井輝圭 | (文化庁) |
| 2. 江戸時代の儀礼と政治—家光期の八朔参賀儀礼を中心に— | 曾野鈴子 | (東大) |
| 3. 幕末における皇陵研究の二系統—蒲生君平と伴林光平— | 河村孝照 | (浜松大) |
| 4. 幕末平田派と宗教的(復古)—白川家関東執役・古川躬行の活動— | 遠藤潤 | (日本学術振興会) |
| 5. 明治後期における宗教の転換 | 福嶋信吉 | (日本女子大) |
| 6. 戦前期の雑誌記事空間における女性と占い | 鈴木健太郎 | (日本学術振興会) |
| 7. 日本におけるキリスト教受容再考 | 宮崎賢太郎 | (長崎純心大) |
| 8. 加賀藩のキリシタンを隠まった七尾の本行寺 | 青山玄 | (南山大) |

9月15日(火) 午前(9:00~12:00)

- | | | |
|---------------------------------|-------|-------------|
| 1. 祭の分布と祭の「意味」—御柱祭を事例にした関係試論— | 島田潔 | (國學院大) |
| 2. 津軽藩における吉川神道 | 伊藤雅紀 | (皇學館大) |
| 3. 中江藤樹における大乙神信仰について | 鈴木保實 | (愛知県立明和高) |
| 4. 御物「楽毅論」にみる内殿祭祀について | 高井恭子 | (国際仏教学大学院大) |
| 5. 江戸期における新嘗祭—氷川神社他数社の事例を中心として— | 海上直士 | (成蹊大) |
| 6. 伊勢神道の影響に関する一考察 | 白山芳太郎 | (皇學館大) |
| 7. 〈香椎聖母〉と神功皇后—もうひとつの中世八幡信仰— | 須永敬 | (翰林大) |
| 8. 折口信夫の禍津日神論について | 稲田智宏 | (國學院大) |
| 9. 紫米について | 椿實 | |

9月15日(火) 午後(13:30~16:50)

- | | | |
|------------------------------------|-------------|----------|
| 1. 伝統型都市の宗教構造—旧堺市街地のキリスト教系教会の視点から— | 荻野勝行 | (大谷女子短大) |
| 2. 戦後ブーム期の受洗者たちに関する一考察—自分史を中心にして— | 川又俊則 | (成城大) |
| 3. 愛知県における葬儀の現状 | 川上光代 | |
| 4. 日本人の他界観と仏壇・位牌 | 須藤寛人 | (駒大) |
| 5. 「自然」葬という人為—葬儀用語整理の試み— | 佐久間光昭 | |
| 6. 団体葬と個人葬—戦後東京の事例を中心に— | 村上興匡 | (東大) |
| 7. 価値観調査にみる宗教意識—(1)現代日本における宗教性— | 永井美紀子 | (國學院大) |
| 8. 価値観調査にみる宗教意識—(2)欧米との比較— | ロバート・キサラ | (南山大) |
| 9. 人生儀礼の変化と再生産—近代日本の結婚式— | イラリア・シニョリーニ | (東大) |
| 10. もののけ考—『源氏物語』から『もののけ姫』へ— | 谷口茂 | (明治学院大) |

第9部会 (21号館401教室)

9月14日 (月) 午前 (9:00~12:00)

- | | | | | | | | |
|--------------------------------|---|---|---|----|-------------|--------|----|
| 1. 善導の人間観について | 堀 | 祐 | 彰 | (龍 | 大) | | |
| 2. 善導教学における懺悔考 | 河 | 智 | 義 | (龍 | 大) | | |
| 3. 親鸞における「真実証」について | 伊 | 藤 | 唯 | (龍 | 大) | | |
| 4. 親鸞における正信の意義—『正信偈』を中心として— | 池 | 田 | 真 | (大 | 谷 | 大) | |
| 5. 親鸞聖人の世界観—『教行信証』「化巻」を中心として— | 隅 | 倉 | 浩 | 信 | (浄土真宗教学研究所) | | |
| 6. 哲学者の親鸞解釈について | 田 | 村 | 晃 | 徳 | (大 | 谷 | 大) |
| 7. 親鸞の横超思想についての試論—行信証の道程のモデル化— | 武 | 田 | 浩 | 学 | (国際仏教学大学院大) | | |
| 8. 宗教的生についての研究—親鸞思想を中心としての考察— | 中 | 山 | 彰 | 信 | (九州情報大) | | |
| 9. 親鸞と日蓮における悪人解放思想の基本構造 | 大 | 久 | 保 | 雅 | 行 | (久留米大) | |

9月14日 (月) 午後 (13:30~16:10)

- | | | | | | | | | |
|-----------------------------------|---|---|---|----|--------------|----|----|----|
| 1. 『往生要集』における浄土十楽の思想的背景について | 常 | 光 | 香 | 誓 | (龍 | 大) | | |
| 2. 宗像阿弥陀経石の研究 | 赤 | 星 | 信 | 哉 | (龍 | 大) | | |
| 3. 歎異抄における「信心さだまる」の表現について | 西 | 田 | 真 | 因 | (真宗大谷派教学研究所) | | | |
| 4. 本願ほこりと宿業 | 大 | 淵 | 雅 | (京 | 都 | 西 | 高 | 校) |
| 5. 掟の御文 | 柏 | 倉 | 明 | 裕 | (大 | 谷 | 大) | |
| 6. 戦国期真宗の信仰と儀礼 | 藤 | 原 | 正 | 己 | (佛 | 教 | 大) | |
| 7. 島地黙雷の「宗教」認識 | 堀 | 口 | 良 | 一 | (帝 | 塚 | 山 | 大) |
| 8. 象王撰『続妙好人伝』について—編者問題と妙好人の信仰と倫理— | 菊 | 藤 | 明 | 道 | (京 | 都 | 短 | 大) |

9月15日 (火) 午前 (9:00~12:00)

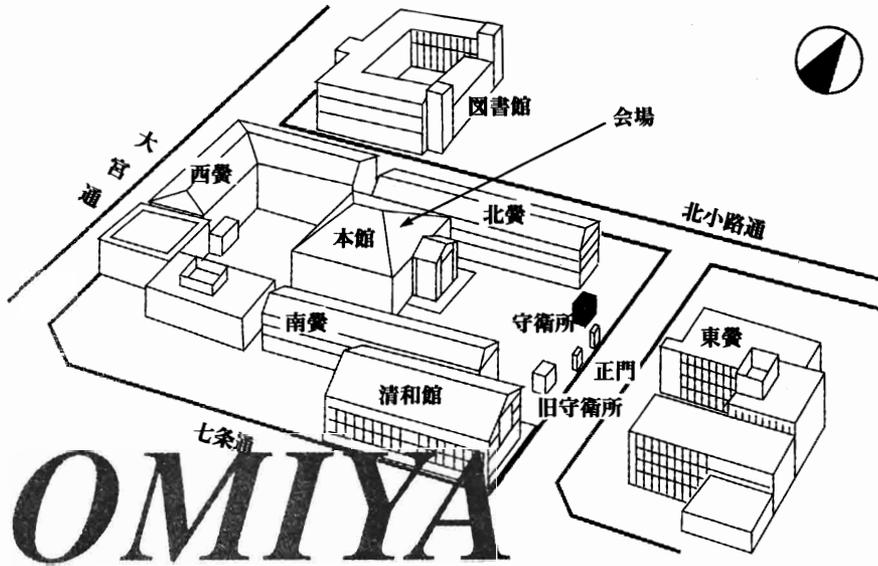
- | | | | | | | | | |
|----------------------------|---|---|---|----|----|----|----|----|
| 1. 親鸞における肉食の問題 | 安 | 藤 | 章 | 仁 | (龍 | 大) | | |
| 2. 親鸞と一念多念の問題 | 高 | 田 | 未 | 明 | (龍 | 大) | | |
| 3. 如来等同の考察 | 御 | 手 | 洗 | 隆 | 明 | (大 | 谷 | 大) |
| 4. 「還相回向」の諸理解について | 井 | 上 | 善 | 幸 | (龍 | 大) | | |
| 5. 親鸞における方便の意義 | 福 | 間 | 真 | 也 | | | | |
| 6. 親鸞における思惟とその論理化 | 大 | 友 | 公 | 司 | (龍 | 大) | | |
| 7. 親鸞における時機の問題 | 平 | 原 | 晃 | 宗 | (大 | 谷 | 大) | |
| 8. 彼仏今現在成仏—親鸞における時の自覚について— | 武 | 田 | 未 | 来 | 雄 | (大 | 谷 | 大) |
| 9. 真宗における信心歓喜について | 新 | 保 | 哲 | (姫 | 路 | 獨 | 協 | 大) |

9月15日 (火) 午後 (13:30~15:50)

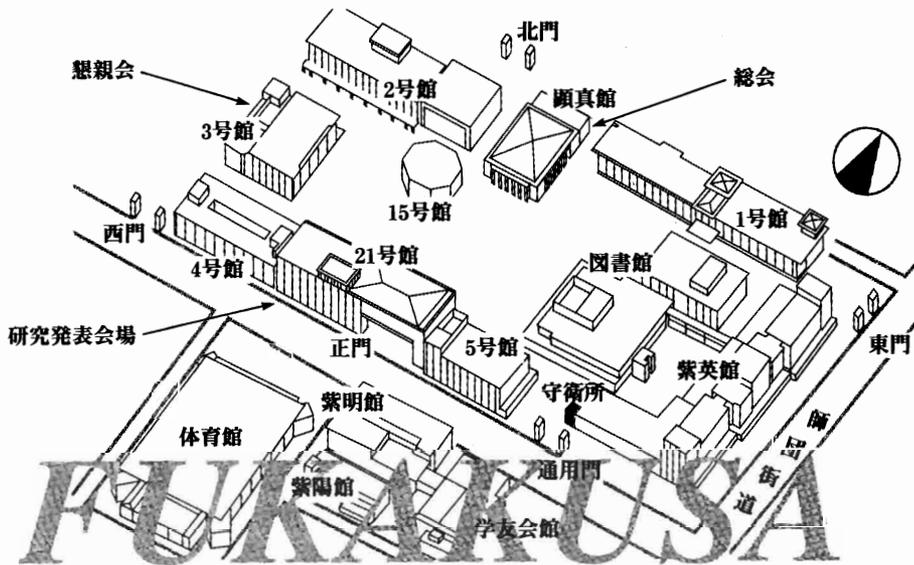
- | | | | | | | | | | |
|--------------------------|---|---|---|----|----------|----|---|---|----|
| 1. 近代における阿弥陀仏理解の問題点 | 寺 | 本 | 知 | 正 | (龍 | 大) | | | |
| 2. 『教行信証』教巻所引『大経』発起序の意義 | 鶴 | 見 | 晃 | (大 | 谷 | 大) | | | |
| 3. 『教行信証』行巻の他力釈における一考察 | 吉 | 本 | 光 | 俊 | (龍 | 大) | | | |
| 4. 「真仏土巻」の『涅槃経』引文 | 鞆 | 津 | 照 | 信 | (龍 | 大) | | | |
| 5. 『教行信証』の研究—「菩提心釈」について— | 小 | 池 | 秀 | 章 | (京 | 都 | 女 | 子 | 高) |
| 6. 癒しと念仏—上田紀行氏所説の浄土教的理解— | 本 | 多 | 静 | 芳 | (武蔵野女子大) | | | | |
| 7. 仏説阿弥陀経の阿弥陀仏—浄土教神話試釈— | 野 | 村 | 伸 | 夫 | (京 | 都 | 女 | 子 | 大) |

龍谷大学 キャンパス案内図

大宮学舎



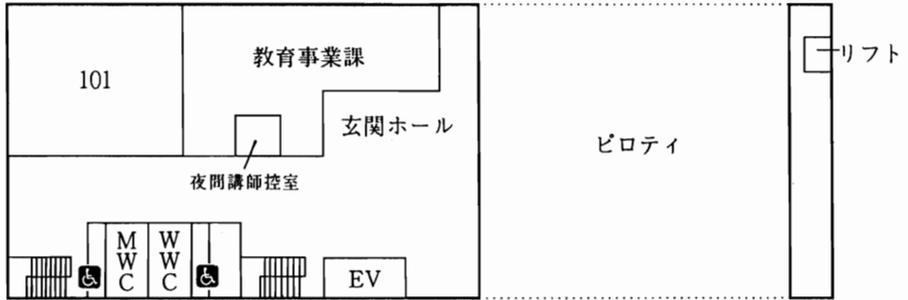
深草学舎



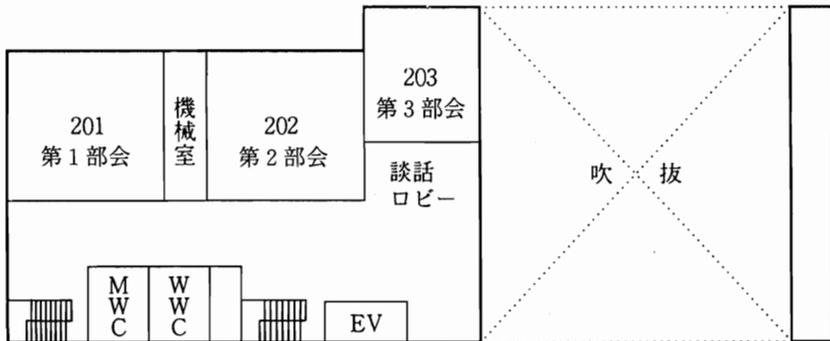
21号館



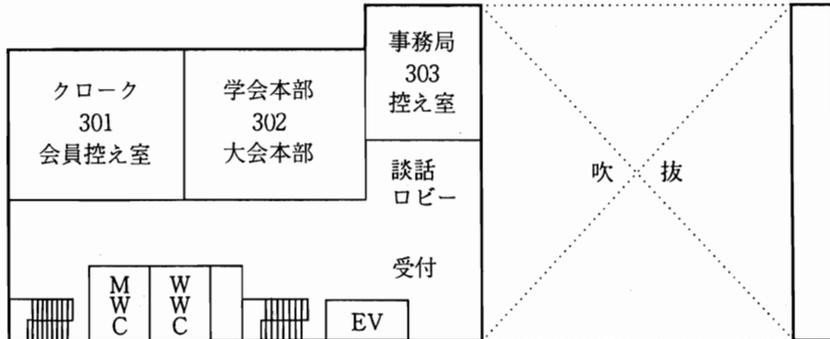
1階



2階



3階

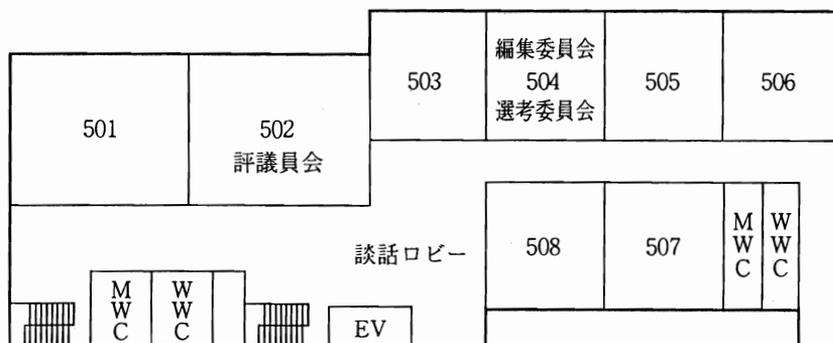




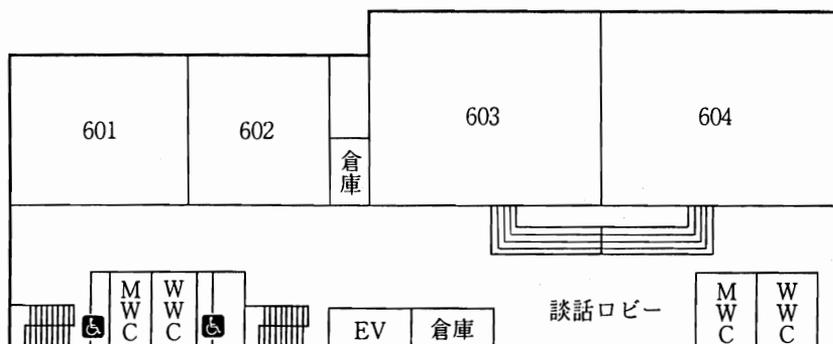
4階

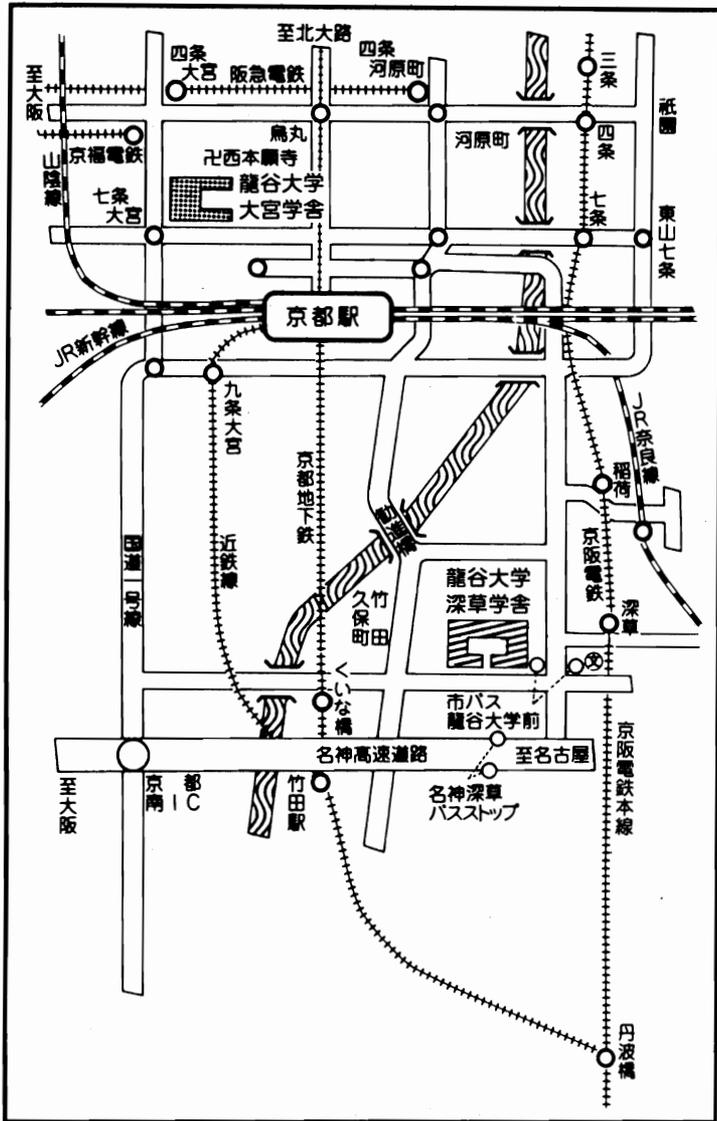


5階



6階





利用交通機関のご案内

- | | |
|-------|---|
| 大宮学舎 | 京都駅から徒歩15分
タクシー5分 |
| 深草学舎 | |
| 京都市バス | 京都駅から市バスを利用
龍谷大学前下車
京都駅から市バスを利用
竹田久保町下車徒歩約5分 |
| JR奈良線 | 稲荷駅下車西南へ徒歩約7分 |
| 京阪電鉄 | 深草駅下車西へ徒歩約3分 |
| 阪急電鉄 | 河原町下車徒歩約2分→京阪
四條経由で京阪深草駅下車 |
| 京都地下鉄 | くいな橋駅下車東へ徒歩約10分 |